

落石に伴う一般国道 186 号及び一般県道乙瀬小方線の通行止めについて（第 2 報）

1 要旨

3月25日（月）23時から全面通行止めを行っている一般国道 186 号について、応急対策工事の進捗が早まったため、4月12日（金）18時に、片側交互通行により交通開放を行います。一般県道乙瀬小方線については、全面通行止めを継続します。

2 経緯

3月25日	落石を確認し、全面通行止めを開始
3月26～29日	道路防災ドクター等による現地調査を実施
3月30日～	応急対策工事の準備工を開始
4月4日～	応急対策工事に着手
4月12日（予定）	国道 186 号を片側交互通行で交通開放

3 応急対策工事の概要

現地調査の結果、落石発生箇所には、不安定な岩が残存していることが判明したため、次の応急対策工事を実施。

- （1）不安定な巨石（2つ）をワイヤー等で固定
- （2）既設防護柵の補強及び大型土のうの設置
- （3）仮設防護柵の設置

4 今後の予定

引き続き、一般国道 186 号の片側交互通行の解消及び一般県道乙瀬小方線の交通開放に向けた検討を行います。なお、両路線の交通開放時期は未定です。

5 その他

例年、この時期には、落石が発生しやすいため、走行には十分注意してください。

なお、本県では、「ひろしま道路ナビ <https://www.roadnavi.pref.hiroshima.lg.jp/>」において、走行注意区間（落石やがけ崩れの発生するおそれが高い区間）を掲載しています。

位置図及び片側交互通行による交通解放後の迂回路



応急対策工事の実施状況 (令和6年4月11日時点)

